

令和6年度

計画名：「SDGs×奈義町版全世代全員活躍のまち＝持続可能な永続できるまち事業」

実施計画における事業名	事業の概要	事業費	交付金充当額	担当部署	目標（KPI）	実績	評価結果	成功事例	課題	改善策・次年度方針（検証委員会）
合計特殊出生率2.95 日本一結婚・出産・子育てのしやすいまちづくり事業	大阪大学医学部との連携により、Society5.0の技術（CPRA）を使用し、育児困難モデル例の作成と出生率向上に向けた理想的育児環境モデルの学術調査を推進。子育て支援のデジタル化を進める計画の策定とともに、スマホよろず相談所などのデジタルデバッド対策を継続。また、アーティストInレジデンス事業を通じて地域の文化的価値を高め、子どもたちの芸術体験機会を創出またAIを活用した効果測定ツールのパイロット事業を実施し、子育て環境を向上させることでKPIの達成を目指す。	45,823,141	22,911,571	情報企画課 こども・長寿課 学事課 生涯学習課 学芸図書課	2025年までの合計特殊出生率2.30以上の維持	2.19ポイント	未達成	子育て環境の整備による、移住希望者数が増えている	移住希望者を受け入れる賃貸住宅が不足している	チャイルドホームを中心とした子育て支援が実施されている一方で「子育ての町」という色が強すぎることへの懸念があり、独身者や子どもがいない夫婦も受け入れる姿勢が必要
まちで活躍する人づくりと人材供給事業	農業コンビニ事業を本格展開し、多様な人材のより一層の活躍を推進。大学生の活動拠点「旧久永邸」の整備を通じて、若い力を活かした地域活性化を実現を目指す。オープンファクトリーの実施による町内の働く場所の認知向上と工業団地内への働き手の不足の解消を目指す。	16,541,091	8,270,546	情報企画課 産業振興課 学事課 生涯学習課	2025年度までの新規創業者数と事業承継者数の合計15件以上	2人	未達成	農業分野でのしごとコンビニ事業の増加	久永邸の活用（映画撮影協力）はあったもののより広く多くの方に使用してもらうことはできていない	しごとコンビニ事業は外部からも高評価を得ている。観光客の受け入れキャパシティが不足している。店舗情報が体系的（なんの店舗でいつ営業しているかなど）にまとめられていない
多世代交流の場と役割と心身健康づくり事業	障がい者の主体的な地域活動参加を促進し、高齢者の生涯活躍を支援するため、多職種連携による全町的な活動を展開。	27,036,500	13,518,250	情報企画課 こども・長寿課 学事課 生涯学習課	2025年度までのトータル人口維持（対2020.4.1人口比：5,787人）	5,515人	未達成	空き箇舎の活用、高齢フレイル予防に一定効果あり	孤食などの課題が継続	特になし
住みたい・帰ってきたい暮らしと住まいの整備事業	空き家の活用促進のため、空き家の発掘・調査を実施。	1,491,600	745,800	情報企画課 地域整備課	2025年度までのトータル人口維持（対2020.4.1人口比：5,787人）	5,515人	未達成	空き家の流動化が少しずつ増えてきている	空き家の賃貸を望む方が多い一方で貸主は売買希望が多く、ミスマッチが発生している	帰ってきたい、住みたいという需要はあるが住宅が不足し、o空き家はあるがリフォームコストが1,000～1,500万円かかり、賃貸として成立しにくいという難しい状況を打破する必要がある